



厚生協会だより

2013年11月21日
第 322 号

発行
公益財団法人
宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：長澤清光

被災者が安心して生活できるよう

長町病院看護部長 長澤 絹代

「あすと長町仮設住宅生活
支援プロジェクトチーム」

立ち上げる

2011年3・11東日本大震災により、あすと長町地域に仙台市内最大規模の仮設住宅「あすと長町ニュータウン」が設置されました。入居住民は「あすと長町自治会」を結成し、劣悪な環境やストレスの中で住民の生活改善や安全確保に取り組んでいます。2012年5月25日に長町病院に支援要請がありました。当院としても、被災者支援の在り方を検討していたところであり、院内に「あすと長町仮設住宅生活支援プロジェクトチーム」を立ち上げました。

健康相談会の実際

相談会回数は18回（12年6月～13年11月まで）、参加職員数は延べ176名（事務局以外、全職員が交代で参加）。相談会受診者は延べ313名（うち医師による訪問50件）、実数64名（居住者の3割強）です。カルテを作成して継続的に診ています。

相談会内容は、①個別居宅訪問―自治会役員の案内で医

師、看護師、リハスタッフ等が訪問診療。②集会所で健康チェック―聞き取り、血圧・血糖測定、健康・生活相談。③健康講話―毎回実施。④医療介護情報提供・個別懇談として啓蒙リーフ配布。等々です。

自治会・住民の感想から

◇信頼と期待の思いでいっぱい。◇これだけの手間と人手をかけてくれているのに無償というのが申し訳ない。◇行政が評価して報酬や補助金など手当てすべき。◇2年近く経って、やっと震災の時のことを吐き出せるようになった。◇このように来てくれて、話を聞いてくれるだけでも助かっている。心強い。

連携し協力しあい支援に取り組む

被災者が安心して生活できるように、地域の医療・介護事業所・行政などと連携しながら、今後も自治会と協力してできる限り支援を続けたいと思います。また、被災者の医療費一部負担金と介護保険利用料の免除措置継続と被災者が望む復興公営住宅が早く建設されるように、一緒に運動に取り組んでいきます。

2013年度

上半期（4―9月）の

経営概況と下半期の課題

専務理事 長澤 清光

はじめに

2013年度は、公益財団法人として、それに相応しい健全で安定した経営構造を築くこと。長町病院建設計画を着実に進め、各事業所の医療活動を支える計画的な設備投資を行うこと。2014年4月からの消費税率8%へのアップが迫る中、設備投資の前倒しを含めた積極的な設備投資が可能になるよう上半期の経営活動を重視し取り組んできました。

Ⅰ、厚生協会全体の特徴
(1) 厚生協会の財務状況

9月末の総資産は143億円、負債は137億円、純資産は6億7百万円となりました。（表―1）

資産の部は143億円となり期首から86百万円増加し、自己資本比率は4.2%です。下期予算計画の取り組みを強

める必要があります。

資金残高は期首比9億5百万円増加し32億78百万円と月商の2.7倍程度を確保しており、資金的には安定しています。

負債総額は137億円余で期首より17億6百万円増加しました。協会債は3億89百万円減少しています。協会債の解約と同時に建設基金の解約も進んでおり34百万円減少しています。協会債は10月より新規募集を停止し、支払期日到来の順に全額返済を行いますのでご協力下さい。

(2) 損益状況

9月までの経常損益は36百万円の黒字になりましたが、予算目標1億39百万円に対して1億2百万円となっており、事業外収益で17百万円程の寄附金が計上されています。

表―1 貸借対照表

単位：百万円

科 目	実 績	期首有高	増減額	科 目	実 績	期首有高	増減額
【流動資産】	5,880	4,944	936	【流動負債】	2,259	2,674	▲ 415
(現金・預金)	3,278	2,372	90	(借入金)	535	1,068	▲ 533
(事業未収入金)	2,342	2,279	63	【固定負債】	11,504	9,798	1,706
				【純資産の部】	607	521	86
【固定資産】	8,490	8,049	441	(当期利益)	86	0	86
【資産の部】	14,370	12,993	1,377	【負債・資産の部】	14,370	12,993	1,377

表―2 上半期法人損益計算書

単位：百万円

科 目	累計実績	構成比	予算	増減額
(入院収益)	4,209	56.8%	4,358	▲ 149
(外来収益)	2,119	28.6%	2,117	2
【医業収益】	6,681	90.2%	6,847	▲ 166
【介護収益】	723	9.8%	727	▲ 4
〔事業収益〕	7,408	100.0%	7,577	▲ 169
【人件費】	4,859	65.6%	4,898	▲ 39
【材料費】	846	11.4%	866	▲ 20
【委託費】	552	7.5%	541	11
【経費】	698	9.4%	678	20
【リース料】	33	0.4%	54	▲ 21
【減価償却費】	305	4.1%	305	0
【消費税】	108	1.5%	113	▲ 5
〔事業費用〕	7,401	99.9%	7,455	▲ 54
〔事業利益〕	7	0.1%	121	▲ 114
【事業外収益】	73	1.0%	62	11
【事業外費用】	44	0.6%	44	0
【経常利益】	36	0.5%	139	▲ 103
【特別利益】	60	0.8%	0	60
【特別損失】	10	0.1%	0	10
〔当期利益〕	86	1.2%	139	▲ 53

す。累計の当期利益は86百万円の黒字ですが、長町病院建設の補助金等が計上されています。（表―2）

〔収 益〕

■2013年度上半期の事業収益は74億8百万円です。事業収益のうち医業収益は66億81百万円、介護収益は7億23百万円でした。

〔費 用〕

■事業費用は、74億01百万円です。人件費で予算を39百万円、材料費で予算を20百万円下回っていますが、経費は予算を19百万円超過しています。

その主な内訳は器械保守料、諸会費、租税公課等で予算を上回っています。費用管理の徹底にさらに努力します。

Ⅱ、下半期に向けた課題

■下半期は予算収益の確保と全職員の費用コントロールが課題です。10万円以上20万円未満の小額固定資産の購入管理も含めて全職員で費用削減に取り組ましましょう。また、下半期より電気料金が値上げされます。厚生協会では半年で10百万円弱の費用増となる見込みですので、節減に努力しましょう。

友の会 健康まつり

各地域で大盛況!

第26回大崎健康福祉友の会古川支部

古川民主病院駐車場を会場に開催されました。古川第二小学校6年生19人の「二小ソラン」で幕を開け、子どもたちの一生懸命な踊りは感動的でした。記念講演は徳島大学名誉教授中嶋信さんに「この国のかたちと『友の会』」と題して講演いただきました。とてもわかりやすく「だまつていてはダメ」「励まし合う友の会集団の中で共に歩んでいこう」「この国を健全な国にする取り組みを強めていきましょう」と話されました。めだかの兄弟のミニコンサートもありました。午後は高倉ひこばえ太鼓が始まり、会員さんによる「お楽しみ演芸発表」に会場は大いに盛り上がりました。今年のまつりも、夢と希望、元気をもらったすばらしい集いとなりました。



高倉ひこばえ太鼓

9月29日
1000名超

第22回長町病院友の会

今年の健康まつりは、秋晴れの下、笑顔の花が咲きました。第一部のオープニングに「六郷すずめっこ」が初登場。お囃子にのって息のあった踊りを披露してくれました。模擬店もほとんどのところで完売。初めての餅つきには多くの人が列を作りました。いっしょになって餅をつく子どもたちも楽しそう。即席劇団「ひらお一座」の寸劇では、消費税引き上げで庶民の暮らしがどうなるか、職員も役になりきってコミカルに演じました。エンディングはチャリデー、ングサークルクラブスの躍動感あふれる踊りで会場が一体に。参加した方からは「スージーもお店も一日楽しめました」などの感想が寄せられました。



ひらお一座の風刺寸劇



オープニングは六郷すずめ踊り

9月29日
約1100名

第17回泉病院友の会

賀茂神社駐車場を会場に開催されました。賀茂神社は泉区古内にある由緒ある神社で、元朝参りやどんどと祭でも大勢の参拝客を集めることで知られています。当日は今にも泣き出しそうなく模様でしたが、賀茂神社の神通力で何とか持ちこたえてくれました(前日、まつりの安全と成功を祈願していました)。泉病院友の会は、今年で創立30周年を迎えて、こ

た。歴史にふさわしい新たな飛躍へ向けて、これまでになく大きな盛り上がりを見せました。勇壮な長命太鼓で幕明け、健康コーナーで健康チェック、泉館山高校吹奏楽部の演奏に元気をもらい、懐かしい友人との何年ぶりの再会。この何年ぶりの再会に仙台ロシア合唱団の歌声に癒され、胸ときめかせた大抽選会。美味しい「仙台芋煮汁」でお腹を満たした案



泉館山高校吹奏楽部の力強い演奏



仙台ロシア合唱団のうたごえ

10月6日
1000名超

第8回大崎健康福祉友の会遠田支部

美里町小牛田地区館で開催しました。記念講演は「私たちの願いと町作り」と題して、元鹿島台町長の鹿野文永さんが講演しました。美里町が脱原発を昨年9月に町当局と議会が一体となって画期的な「平和を考えるつどい」を開催し、人間は核と共存できないと唱え、核絶滅と脱原発を強く訴え人々に感銘を与えたことが紹介されました。

特別出演は小牛田中学校吹奏楽部の演奏。昼食休憩はこの模擬店も大賑わい



リッパな演奏

10月13日
400名

第12回若林健康友の会

地元「六郷すずめ踊り」でオープニング。舞台は、平尾所長薬局長の講演。そして「創作舞踊」「ひとり語り」「フラダンス」拍手したり、笑ったり。催しものコーナーは「笑うヨガ」。うなずいたり、「おもちゃ、新聞ちぎり絵」「産直市」「抹茶席」など。「医療コーナー」は、骨密度測定(27名が測定)。栄養士による食事相談。毎年恒例「無舌つみ」。仙台東高等学校吹奏楽部の演奏に大感動。最後は「お楽しみ抽選会」で「1等」新米2kgの当選者に大歓声。盛りだくさんの企画で、あっという間の4時間でした。



舞台の熱演に拍手喝さい



仙台東高校吹奏楽部の演奏に大感動

10月6日
290名

第14回大崎健康福祉友の会加美支部

加美町・やくらい文化センターで開催しました。記念講演は「憲法9条とわたしの生き方」というテーマで元鹿島台町長の鹿野文永さんが講演しました。憲法9条の「改憲」こそ、市民村住民の安全・安心を脅かす最たるものであり、断固としてこの動きを阻止し、憲法9条を守らなければと決意を新たにしたことなどをわかり易く話していただきました。特別出演の中野田幼稚園の子どもたちが演じた「虎舞・よ



さこい]

10月20日
400名

第19回仙台錦町診療所友の会

KKRホテル仙台を会場に開催。午前中はこの8月に帰任された齋藤慶史副所長が「腎臓と泌尿器の話」と題して記念講演。

具体的な症状を紹介しながらの講演でわかりやすかったと好評でした。お昼時間にはフラワークラフトやセルフハンドマッサーの作品展示コーナーとあわせてこちらも好評でした。午後の第2部の幕開けは、親子サークル「青葉和九輪来」による「すずめ踊り」。愛らしい小すずめたちの熱演に大きな拍手が寄せられていました。こちらも初登場の「アメリカンダンス」に続いて、定番となった会員さんによる民謡や詩吟、オカリナ演奏。「去年よりだいぶ上達した!」との声も飛び和やかなひと時となりました。

た。今回は、「まつり」一週間に診療所周辺にチラシを配布したこともあり、事前に窓口に参加券を求めに来られた方や、初めて会場に足を運ばれた地域の方もあり、新たな広がりがみられました。



講演する齋藤慶史副所長



骨密度測定コーナー

10月27日
100名

で「完売」続出。午後の部では毎年恒例の実行委員会による仮装行列「水戸黄門」に会場全体を大いに和ませてもらいました。最後は今年初めて全員参加しての大抽選会で大好評でした。健康チェックコーナーも大盛況でした。展示コーナーも素晴らしい作品に彩られ、多くの方が見入っていました。来年も元気でおいししましょう。



小牛田中学校吹奏楽部の演奏

第15回くりはら健康福祉友の会

台風一過の下、クリニック隣のコミュニティセンターを会場に開催されました。400名以上の方が待ち望み大盛況のまつりとなりました。地元の人たちの生演奏と歌、栗駒女性消防団員による人形を使っておの火災や緊急時の対処の仕方など、ユーモアが披露され参加者を魅了しました。その他にも唄と踊りの食は、手作りの豚汁とおにぎりを出した。当友の会ならではの味はもちろん、雰囲気も最高と大好評です。会員の自慢の作品もいろいろ展示され、目を楽しませ、健康チェックの頸動脈エコーには行列もできていました。放射能関係の方も参加して土壌の測定も同時に行なわれました。地域における秋の行事の一つとして定着しつつあることを実感した健康まつりでした。



手作りの昼食(豚汁、おにぎり)は最高



職員と幹事合同で合唱を初披露

10月27日
400名以上

さ「い」は参加者を和ませてくれました。会員さんによるお楽しみ発表会も大いに会場を沸かせてくれました。最後は豪華お楽しみ抽選会で当たった人、外れた人皆で楽しみました。健康チェックや各種模擬店も大盛況でした。



翔彩綺羅楽の勇壮な「よ

私の趣味

さわやか **エッセイ**



古川民主病院診療サービス課 **瀬川 充**

県外に出かけ食べ歩く

私の最近の趣味というか、ストレス解消法は、外に出て食べ歩く形です。

近くに出かける訳ではなく、県外に出かけます。

一時期は一人でも出歩いていましたが、最近は同僚の人達から誘われて出かけることが多いです。

例としては、福島市の餃子であったり、喜多方のラーメンであったり、山形のかき氷であったり、食べ物でなくとも、温泉を巡ったり、ミステリーツアーであったりもします。

一度行った場所であっても、また行くと違った発見があったりして面白いものです。

範囲としては、車で日帰りできるところが主なところで、東北と北関東が出歩く舞台となっております。



ワクワクする道の駅めぐり

道の駅を回るのが好きでスタンプラリーというイベントが有る時に動いています。

特に、道の駅は毎年増えておりまして、新しい道の駅にいきますとワクワクします。

この前も青森県や福島県の道の駅を回ってきまして、大変有意義な旅になりました。

今後も、誘われるがままに歩き回り、道の駅めぐりを続けて行きたいと思う所存です。

ちなみに私がお勧めの「東北の道の駅」はこちらです。

青森 — なみおか、みさわ、碓が関
秋田 — 象潟、鹿角、あきた港
岩手 — 雫石、くじ、石鳥谷



宮城 — あら伊達な道の駅 (岩出山)、上品の郷 (河北)
山形 — 寒河江、鳥海、飯豊
福島 — ばんだい、よつくら港、安達
といった場所です。違うなあとと思われる方もいるかもしれませんが、そこはご容赦下さい。
また、新発見がありましたらご報告したいと思います。

東北あちこちの『道の駅』